

社協 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

令和元年9月15日 No.69

編集・発行



那加三地区
社会福祉協議会

「向こう三軒両隣の輪」を強めよう!!

—— 近隣ケアグループ研修会を開催 ——



社協会費が
使われています

1 代表者懇談会 (5/14) 出席者43名

那加三地区27の近隣ケアグループ代表者と社協常任理事による、様々な活動課題について情報交流をしました。

- ①自己紹介
- ②グループ員・代表者の選出方法について
- ③選出にかかわる問題点
- ④新代表・グループ員の引継ぎの状況
- ⑤グループ代表者と自治会との連動
- ⑥グループにおける情報交換について

高齢化社会が進む中、近隣ケアグループの活動が重要な役割を果たしています。ボランティア活動としての困難がある中、今後とも、自治会長・民生委員との情報交流を密にし、一体感のある思いやり活動を推進していく必要があるとの共通認識をしました。



2 第一回研修会 (6/11) 出席者129名

近隣ケアグループ員、自治会長、民生・児童委員の出席のもと開催しました。まず、市社協、地域福祉課の高木一主任主査からお話を聞きました。社会福祉協議会と近隣ケアグループとの関わりや役割について具体例をあげながら説明していただきました。近隣ケアグループの役割は、まず、意識してご近所さんへ「声かけ」をすることで、顔の見える関係をつくることから始まります。高まる高齢化の中で、近隣ケアグループの役割は益々大切になっていることを認識しました。

高齢化率・5年間の変化 H31.4.1現在

	H.31	H.30	H.29	H.28	H.27
那加三地区	26.3%	26.8%	26.8%	26.4%	26.1%
各務原市	27.8%	27.4%	26.9%	26.5%	25.7%

地域包括支援センター坂口将矢主任主事からは、高齢者に関するお困りごとは、「どんなことでもお気軽にご相談ください」と呼びかけがありました。

各務原市地域包括支援センター 社会福祉協議会

〒504-0912 各務原市那加桜町2丁目163番地

☎058-383-7624 FAX058-382-3233



近隣ケアグループ研修会アンケートより

アンケートへのご協力ありがとうございました。一部抜粋させていただきます。

1 近隣ケアグループ活動年数 (回答者86名)

年数	1年目	2年目	3年~5年	6年~10年	10年以上	計
人数	38	27	11	5	5	86
構成	44%	31%	13%	6%	6%	100%

2 那加三地区社協の活動について

	件数	構成比
あまり知らなかった	29	33%
ある程度知っていた	52	61%
記載なし	5	6%
計	86	100%



3 近隣ケア研修会に参加して感じたこと

- 初めての研修会だった。高齢者の方に目を向けていこうと改めて思った。
- 社協や地域包括支援センターなどのDVDによる説明で概要がよくわかった。
- オレオレ詐欺のDVDはよくわかった。是非お年寄りに見てもらいたい。
- 若い世代が非常に少ない。老老介護が地域活動にも広がっている。
- いろいろな課題や難題が多くあることがわかったので、相談しながら活動したい。
- 具体的にどのように活動するのか体験談がほしい。
- 高齢化率の上昇は社会問題だ。次の時代に合う施策に期待する。

・・・校区の皆様へ・・・ わが校の福祉教育

地域とともに 福祉を通して 自己の生き方を探す



那加中学校 校長 廣瀬 良

本校では、3年間を通して系統立てて福祉に関わる学習や活動を行っています。1年生：「各務原学：福祉って何?」「那加一校区お年寄りを囲む会」「那加三校区福祉施設訪問」、2年生：「高齢者疑似体験、福祉に関する職業について」「福祉施設での職場体験」、全学年：「生き方講話：社会福祉士さんの生き方に触れる」「那加三校区ふれあい食事会」でのゲスト出演やポスター出品などがあります。

とりわけ、那加三校区では福祉施設等における訪問や職場体験という貴重な場を与えていただき、多くのことを学ばせていただいています。昨年度の3年生が福祉についてこんなことを語っていました。

「福祉に関する仕事をしている方が『福祉=幸せ』だと話され、自分の仕事に誇りと自信をもっていらっしゃいました。私が目指す仕事も相手を幸せにする仕事だと気づき、自分の夢に自信をもつことができました。係の仕事をするときもボランティアで挨拶活動に参加するときも相手の気持ちや思いを考えてやっていきたいです。」

このような生徒が育つ背景には、社会福祉協議会をはじめとする多くの方々のご支援があってこそと改めて感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

福祉について幅広く学習しています



那加第三小学校 校長 横山 貴雅

本校の5年生は、「総合的な学習の時間」に年間を通して福祉をテーマとした学習を進めています。昨年度は、市社会福祉協議会の協力のもと、視覚障がいをもつ盲導犬ユーザーや足に障

がいをもつ車いすテニスの選手にお越しいただき、障がい者としての思いや健常者への願いを聞きました。また、高齢者疑似体験、車いす体験をする機会を設けていただきました。さらに、ケアマネージャーや社会福祉士に來校いただき、児童向けに認知症に対する理解を深める「認知症講座」を開催していただきました。

福祉について様々な知識を身に付けたあと、老人介護施設「慈光園」への訪問を定期的に行い、入所しておられる方々との交流をしました。

その他にも、夏休み前、冬休み前には、地域の独居高齢者の皆さんあてに、暑中見舞い葉書や年賀状を書く取組も行っています。受け取る方のことを想像し、どのような内容を記すと心が和んでくださるかを考えながら書きました。

将来、家族や地域の力になれる人となれるよう、那加第三小学校ではこれからも福祉について学ぶ様々な機会を設けていきます。

ボランティアハウス懇談会 (5/21 出席者31名)

ボランティアハウス8グループの代表スタッフによる懇談会が行われました。各グループによる活動状況の発表後、問題点に対する質問・アドバイス・さらには要望と、大変活発な情報交流ができました。一人でも多くの方に参加していただき、イベントを楽しみ笑顔の輪を拡げることがスタッフ共通の認識でした。



暑中見舞いはがき

～やさしい心をありがとう～
今年も那加第三小学校の5年生60名のみなさんが114名のお年寄りに228枚の「暑中見舞いはがき」を書いてくれました。



第24回 夏祭り盆踊り大会 (8/3)



那加第三自治会連合会主催の夏祭り盆踊り大会に、那加三地区社協も「福祉の店」を出店しました。ご協力ありがとうございました。売上金は左記の授産施設へお届けしました。

また、今年は、自治会の模擬店「焼きとうもろこし」と「綿菓子」の販売にも協力しました。



エンジェルハウス	8,940円
あしたの会 共働学校	35,000円
虹の家・友愛の家他	17,300円
星の村	6,050円
合計	67,290円

